

●炭焼き体験用の原木が調達できました

1月30日7人の皆さんが朝9時30分に集合して、流域センターから昨年伐採された材木を運び込みました。昨年炭窯に詰め込んだ原木は3年前に伐採し、かなり乾燥させておいたものでした。かなり乾燥させた物で水分は抜けていると想像していたのですが、しっかりと木酢液は抽出できました。水分は竹のように抜けきっていないことがわかりました。今回の原木は1年寝かせておいた材料なのですが、しっかりと重さがありました。きっと素晴らしい炭に出来上がると思われまます。

早速同志社大学のボランティアの皆さんに連絡を取って炭焼き体験を行おうと計画中です。昨年も2回実施いたしました。今年も二窯分の原木が用意できたので2回できます。お楽しみにお待ちください。



●1月30日就労支援のためにボランティアをお願いに来所

里山農園で作業していると寝屋川市から10年以上前から水取でアジサイを一人で栽培され障害者の皆さんに栽培技術を習得させてあげたいと頑張っておられる奥村さんが訪ねてこられました。大阪府立の高校教師をされて、当時からアジサイの栽培に取り組んでおられて、できれば栽培などのお手伝いをと希望されていました。里山農園で活動していることを聞き、きっと趣旨を理解して協力が得られるのではないかと思います。厚かましいことですが、できたら里山農園の作業を少し早めに終えて、ご協力いただきたいと思いますとおっしゃっていました。

●過日コメづくりを主力に生産している友人に会ったら、今の農業は市場に出す農産物は大変な農薬を散布して栽培されていると話を聞きました。かねてお茶栽培も農薬が使われていると聞きました。いずれにしても人体に影響がないとされているものですが、今日では病気や害虫を防止のためには使用しないわけにはいかないとのことでした。以前まではイナゴが普通にいました。これがまったく見かけなくなりました。カエルもいなくなりつつあります、蛇も見かけなくなりました。田圃の生き物がいなくなっています。大きな変化がおきています。これで安心安全な食糧が生産されているのでしょうか。

マスクをしないと空気を吸えなくなっています。水も空気も自然のままでは口にできなくなってしまう。これでいいのでしょうか、このままでいいのでしょうか、ここ数年間で大変化が目に見えるようになってきましたね。

●地域説明会

初回 2月6日(土) 八幡市上津屋里垣内56番地・四季彩館で開催 10時開場～15時

2回目 2月7日(日) 宇治市宇治枇杷5-14・宇治生涯学習センター 10時開場～15時

3回目 2月11日(木祝) 京田辺市草内美泥22-2・中部住民センター 10時開場～15時

4回目 2月14日(日) 木津川市木津宮ノ内92・木津川市中央交流会館(いづみホール)
10時開場～15時

5回目 2月20日(土) 城陽市寺田今堀1・文化パーク城陽 10時開場～15時

今年は、例年のように「木津川はどんな川」を主題にして、イタセンパラ復活、それに源氏物語に登場してくる植物の花の写真を特集します。そのほか中聖牛や里山の会が自力でつくりあげた竹蛇籠や中聖牛なども写真で展示いたします。見どころ満載の展示会となります。

●イタセンパラの復元を目指す取組 井手町で呼びかけ 取組の説明会開催 3月13日(土) 13時30分～16時

玉水橋下流の不法専用地域が随分ときれいに整地されました。私たち里山の会は今、国が指定している天然記念物であるイタセンパラが淀川水系で自然のままに飼育していたのが木津川で玉水橋付近であると聞かされていました。当時生育していたのは2007頃までだったと聞き及んでいます。木津川でイタセンパラの生態を研究されていた小川力也先生に現地を視察いただいたところ、研究観察していたころとほとんど同じで変化がないということでした。また摂南大学の石田先生の数回の生育物調査で二枚貝の亡骸や、イタセンパラと同じ生態系といわれるタナゴが生育しているのを確認されています。現在のところ放流してもイタセンパラが生育できる可能性はかなり高いのではないかと推測しています。問題は天然記念物であるイタセンパラを密漁されてしまう危険をどう防ぐのかが最大の課題です。いろいろ考えましたがワンドの存在する地域の住民が立ち上がることが第一だとなり、皆さんにご案内をさせていただきました。皆様には公私ともご多用と存じますが、趣旨ご理解をいただきご参集をお願いすることになりました。3月13日(土)午後1時30分、井手町上井手にある山城勤労者福祉会館会議室にて有志の会議をさせることになりました。イタセンパラ復活にご関心ある方ご参集おねがいします。



●炭焼き体験実施 2月13日 炭の窯出し 原木窯作業と詰着火

今年の炭焼き体験学習は開催できるのだろうかとかやきもきしておりました。1月末に原木の運び込みがされたので、いつでも再開できる用意ができました。本日の事務局会議で大村副理事長から2月13日土曜日に炭の窯出しをしたいと提案がありました。事務局会議出席者各位からは特別な異論もなく実行することになりました。こんにちでは炭焼き釜を、大切に維持でき、そして炭焼きを実行できるもこの窯ぐらいになってきているのではないかと思います。炭焼きを実行できるのもあとわずかかだと思います。本当に貴重な体験できるチャンスです。お多くの方がご参集くださることをお願いします。